



平成22年11月

平成22年10月
(社)岡山県建築士会
CPD・専攻運営委員会

新・CPD制度がスタートします！

「CPD (Continuing Professional Development) 制度」とは

継続的に能力開発を行っている建築技術者の研修実績を「建築士会」が確認・証明し、社会に明示する制度です。

平成21年1月5日施行の改正建築士法第22条の4の規定により、すべての建築士に対する研修を行うことが建築士会に義務付けられたことを受け、従来からのCPD制度を大幅に改め、全ての会員が参加できるように、更にオープン化により非会員の方・同じ施工現場で働く建築施工管理技士等の建築技術者にも広く門戸を開くこととしました。

現在、国土交通省では設計等業務委託（総合評価方式等）での建築CPD情報提供制度の実績評価、国土交通省中国整備局及び岡山県では工事入札（総合評価方式）での建築士会CPDの実績を評価し、CPD取組状況を加点するなど、CPD実績の活用が広がりつつあります。

■「新・CPD制度」について（岡山県建築士会は平成22年11月開始）

- ★「CPD手帳」（バーコード方式）から「CPDカード」（ICカード方式）へ移行します
- ★研修プログラムの「委員会型」「実務型」や「2倍単位」がなくなります
- ★事後申請（データ登録時の自己申請方式）がなくなります
- ★事務局へのデータ登録申請手続きが不要になります
- ★HP上で自分のデータが閲覧できるようになります
- ★年間の推奨単位は12単位、専攻建築士の更新基準も5年間で60単位となります

現行のCPD制度に登録されている方も、改めて“新・CPD制度”（カード方式）への参加登録が必要です。まだ手続きをされていない方は、早急に手続きをお願いします。

参加登録申込書にカード発行費、データ登録管理費を添えて 岡山県建築士会事務局まで申込をして下さい。

■「新・CPD制度」利用の流れ <CPDカードを活用した記録システム>

1. 参加登録手続きをする（申込書と登録費用を岡山県建築士会へ提出する）
新規参加登録は、随時受付をしています。
2. CPDカードが届く
3. ホームページ上で、「建築士会CPD情報システム」（CPD専用サーバー）を開き、事前認定された研修プログラムを確認し参加する。（従来どおり会報等でもお知らせします）
4. 講習会場に設置されたカードリーダーにCPDカードを通し、出席を登録する。
カードリーダーがない会場では、CPD登録番号と氏名を専用用紙に記入する。
5. 講習会終了後、主催団体が参加者名簿データを岡山県建築士会に送付する。
6. 岡山建築士会が「建築士会CPD情報システム」に参加者名簿データを登録する。
7. 参加者は「建築士会CPD情報システム」の『参加者用画面』で、自分の履修歴を閲覧できる。
8. 入札参加資格審査及び工事入札（総合評価方式）など、必要な時に「CPD実績証明書」発行願を岡山県建築士会に提出すれば、証明書が発行される。

注 意

- 1) CPDカード発行までに2ヶ月程要します。その間は会場でCPD登録番号と氏名を記入して下さい。講習会によっては申込み時点で名簿を作成し、当日は出欠だけを確認することもあります。
- 2) CPD参加登録手続き後から、履修実績が登録できます。それ以前の履修は登録できません。
- 3) CPD実績証明書は発行願を提出して下さい。
- 4) 自習型（会誌等の認定教材を読んで設問に答える）は、『参加者用画面』で、設問の解答を入力し、正解であれば単位が登録されます。
- 5) 毎年11月に自己申告していたデータ登録（事後申請方法）は廃止され、審査委員会による「プログラムの事前認定」が原則となります。他団体主催のプログラム等の認定をご希望の場合は、主催者から事前に申請をしていただく必要があります。

■ CPD制度の現行と改正後の比較表

		旧制度	平成22年4月より適用
CPD参加資格		建築士会会員限定	すべての建築士 施工管理技士等すべての建築関連技術者
履修実績の記録・登録	データ登録・管理方法	バーコード方式 各建築士会のPCで管理	カード方式 建築士会専用サーバーで管理
	参加型研修	講習会場等でのバーコードの配布と手帳の提出により登録	講習会場でカードによる出席記録に基づき登録
	認定教材	誌上掲載の設問への解答とバーコードを手帳に貼付して士会へ提出	HP上で設問に答えた後に、事務局の確認を経て登録
	事後申請の扱い	自己申告に個別に対応	原則認定外、ただし、内容等により認定する場合もある(有料)
履修対象プログラム	プログラム種別	社会貢献型	情報提供型(社会貢献型、講師)
		情報提供型	
		委員会活動型	—対象外—
		認定研修	参加型研修(特別認定研修、講習会、法定講習、見学会等)
		その他講習会・見学会等	
		認定教材による自習	認定教材による自習
	実務型	—対象外—	
プログラム認定	プログラム評議会等により認定	事前に申請されたプログラムについて、全国統一基準による厳格な認定を原則とする	
	プログラム認定手数料なし	プロバイダーから認定料または個別のプログラム審査料。ただし、公的機関は無料	
履修実績の活用	単位換算	研修別により重み付け	実時間換算とし、重み付けは行わない
	能力開発の目標	年間36単位	年間12単位以上
	履修実績の確認	証明書の交付により確認	HPで常時確認可能
	履修実績の提供	活用先にあわせて、手作業で提出 データを整理、提出	必要なときに必要なデータを容易に編集、提供可能

■ CPD制度に係る費用等

項目		正会員	非会員
1.	初期登録費	旧制度から継続参加者 0円 新規参加者 500円	2,000円
2.	CPDカード発行費	1,000円	2,000円
3.	データ登録・管理費	2,000円/年	7,500円/年
4.	証明書発行費	500円/1通	2,000円/1通
5.	事後申請データ登録費	500円/1申請	1,500円/1申請
6.	会誌提供サービス	○	×
7.	受講料割引サービス	○	×
合計	初回(1+2+3)	3,000円/年(継続参加) 3,500円/年(新規参加)	11,500円/年
	2年目以降(3のみ)	2,000円/年	7,500円/年
備考 ※建築士会の会員になるには 入会金3,000円、年会費12,000円、 支部所属の方はプラス支部費が必要		(社)岡山県建築士会のCPD参加者は、同時に建築CPD情報提供制度にも参加登録をします(追加料金は不要です)	建築士資格を持たない建築施工管理技師等の方は、建築CPD情報提供制度は利用できません
プログラム審査費		研修プログラム主催者(士会以外)からの申請に基づく 1プログラム(1開催分)当たりの審査料	5,000円
プロバイダー登録費		研修プログラム主催者が、建築士会CPD制度へプロバイダーとして登録する場合の費用 (プロバイダー主催によるプログラムには、別途プログラム審査料は不要)	年間 50,000円